日本でお世話になった人に伝えたいこと

ジョージ・アビゲイル

皆さん、今日は私が日本で出会った素晴らしい人々への感謝の気持ちを伝えたいと思います。私は日本に留学し、日本語を勉強する機会を得ましたが、最初はとても不安でした。言葉の壁、新しい環境、すべてが初めての経験で、正直なところ、うまくやっていけるか心配でした。

しかし、日本で出会った皆さんの優しさのおかげで、その不安はすぐにはなくなりました。そして、そのおかげで私は日本での生活を本当に楽しむことができました。

最初に助けてくれたのは、ももかさん、おとはさん、ななさんです。VOICEプログラムを通して出会った彼女たちは、まるで家族のように私を迎えてくれました。区役所の手続きや大学の書類の準備、スーパーや電車の使い方など、生活の基本的なことを一つひとつ優しく教えてくれました。それだけでなく、一緒にカフェや居酒屋に行ったり、名古屋の観光地を案内してくれたりしました。彼女たちのおかげで、新しい環境にすぐに馴染むことができました。本当にありがとう！

次に、CSEPの皆さんと緒方先生にも感謝しています。緒方先生は、私たち留学生が日本の学生と交流できる機会をたくさん作って下さいました。名古屋城や常滑への学校旅行も企画して下さい、そのおかげで日本文化を深く学ぶことができました。CSEPの皆さんのサポートがなかったら、日本での生活はとても大変だったと思います。いつも温かく支えて下さり、本当にありがとうございました。

そして、日本語の先生たちにも心から感謝しています。週3回、3時間の授業はとても大変でしたが、先生たちはいつも親切で、分かりやすく教えて下さいました。授業中は日本語しか話せなかったのですが、最初は難しかったですが、そのおかげで日本語がどんどん上手になりました。先生たちは授業の外でも私の質問に答えてくれて、本当にありがとうございました。

最後に、日本語のクラスで出会ったえいとさんにも感謝しています。彼はいつも日本語で話しかけてくれて、私の日本語の上達を助けてくれました。最初は、日本人の友達を作るのが少し怖かったですが、えいとさんのおかげで自信が持てるようになりました。留学が終わる前に、彼は大切なネックレスを私にくれ、「このネックレスを持っていれば、いつでも日本のことを思い出せるよ」と言ってくれました。その言葉がとても嬉しかったです。

私は日本でたくさんの人の優しさに支えられました。そのおかげで、不安だった留學生活が、かけがえのない思い出になりました。そして、皆さんのように誰かを助けることができる人になりたいと思うようになりました。

日本で出会った皆さん、本当にありがとうございました。皆さんの優しさを忘れずに、これからも頑張ります！